

進路便り



世田谷区立烏山中学校

第4号

令和4年6月10日

推薦入試を考える

入試方法のひとつに“推薦入試”があることはみなさんも知っているのではないでしょうか。推薦入試のイメージとして『テストがない＝楽な受験スタイル』と思っている人はいないでしょうか。本当に楽なのでしょうか。詳細は後日（進路説明会）になりますが、少し推薦入試について考えてみましょう。

都立高校における推薦入試

- ＜出願資格＞*該当学科を志望する目的意識が明確である、その理由が適切である。
*該当学科に対する適性および興味、関心が明確である。
*人物が優れている。
*学習成績が良好である。

⇒推薦基準が明確でない（評定での基準はない）ので判断が難しい。また倍率も平均3倍ほど。

私立高校における推薦入試

- ＜出願資格＞*入学志望や目的意識が明確であり、その理由が適切である。
(推薦基準) *人物が優れている。生活指導上問題なく、心身ともに健康である。出席状況（遅刻・早退・欠席）が高校側の推薦基準を満たしている。
*学習成績が良好である。内申（教科の評定点）が高校側の推薦基準に満たしている。

⇒推薦基準は明確である。

入試相談（学校）が必要なことが多い。説明会や見学会へ保護者、本人の参加は必ずしておく

その高校が第一希望（理由が明確）であり、当然出願したら必ず受験することになりますし、合格したら必ず入学することになります。合格後、他の高校を受験することはできません。また不合格になった場合、他の学校へ推薦入試を再度出願することはできません。（一般入試はもちろん可能です）

そして重要なのが…

烏山中学校の推薦条件（基準）

『中学校できちんとした日常生活が送っているかどうか』

①希望校等で卒業まで目的意識をもって生活を送る強い意志をもっていること。

②中学校生活において「推薦にふさわしい人物であること」

（例えば）

*授業への取り組みが真面目で、学習に前向きであること。

*言葉遣い・服装・態度等で、日常の言動が落ち着いていること。

*日直・清掃・当番活動や、委員会、行事などへの取り組みの中で、自己の責任を果たしていること。

③受験校等で求める成績等の基準に達していること。

④受験校等が求める出欠席・遅刻・早退等の基準に達していること。

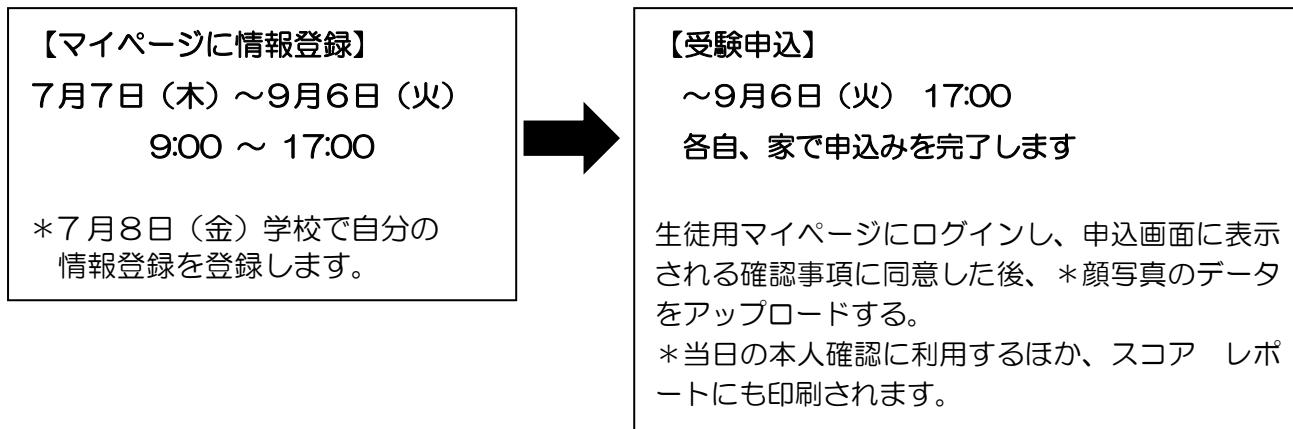
本人と保護者の申請に基づいて、

《学年、学校全体の教員が協議し、最終的に校長が判断して決定する》



令和4年度中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の申込みについて

○受験申込みの流れ



*詳細は7月8日（金）に配布するマニュアルで確認してください。

*顔写真のきまり（スマートフォンやiPadなどで撮影して、準備してください）

- ・申込み日から3ヵ月内に撮影されたもの
- ・正面を向いており、本人の顔が大きくはっきり確認できる
- ・正面の上部から頭部の上に余白がある（全体の3分の1程度）
- ・めがねをかけて受験する人は、めがねをかけて撮影されたもの
- ・無背景であること（白、薄い色であれば可）
- ・カラー、モノクロともに可
- ・ファイルのサイズ：50KB以上～3MB未満

【このような写真はNGです！】

- ・長すぎる前髪・マスクなどで顔の一部がかくれている
- ・めがねのフレームが非常に太く目や顔を覆う面積の大きいもの
- ・ポーズをとった手などで顔の一部がかくれている
- ・アプリで輪郭や瞳の大きさなどが加工されている
- ・証明写真やプリントした写真を撮影したもの
- ・他の人や動物と一緒に写っている